

オオカミのひみつ クイズ解答用紙

こたえの番号に○をつけよう!

第一問のこたえ

1・2・3

第二問のこたえ

1・2・3

第三問のこたえ

1・2・3

クイズのこたえに○をつけたら、迷路入口の受け取りまで持っていこう!

ぜつ めつ どうぶつ いち らん 絶滅動物一覧

動物名	分類	特徴	主食	絶滅ランク	絶滅時期	絶滅の理由
ネアンデルタール人	霊長目ヒト科	石器や火を使っていた。	雑食	絶滅	約2万年数千年前	別人種との戦い?
ナウマンゾウ	長鼻目ゾウ科	肩高2.5~3m キバは2メートルを越す。	草	絶滅	約1万6000年前	環境変化や人間による乱獲。
ヤベオオツノジカ	偶蹄目シカ科	人間の手のような形をした大きなツノをもつ。	草	絶滅	約1万2000年前	環境変化や人間による乱獲。
マンモス	長鼻目ゾウ科	体長2.8~4m 体重8t	カバの木 松の葉	絶滅	約1万年前	環境変化、伝染病、乱獲など。
ヒレナガゴンドウクジラ	クジラ目マイルカ科	体長約7m 体重3t 丸く飛び出た額。	イカ	絶滅	1110年頃	12世紀まで日本海で捕獲されていた記録があるが、原因は不明。
ニホンオオカミ	ネコ目(食肉目)イヌ科	体長95~114cm 迫力のある遠吠え。	シカ	絶滅	1905年	江戸時代以降の狂犬病の流行等による駆除や、餌の減少など。
オガサワラアブラコウモリ	翼手目ヒナコウモリ科	体長37cm 頭部が小さく幅も狭い。	虫	絶滅	1915年	原因は不明。食用にされていたことも考えられる。
キタタキ	キツツキ目キツツキ科	体長46cm オスは頭の毛が赤い。	甲虫の幼虫	絶滅	1920年	輸出用のはく製にするための乱獲や森林伐採。
ニホンカワウソ	ネコ目(食肉目)イタチ科	体長64~82cm 背が茶色で、腹部が白の毛。	川魚	絶滅	1979年	人間による乱獲と河川環境の変化。
クニマス	サケ目サケ科	2010年に再び、 山梨県西湖で発見される。	藻 プランクトン	野性絶滅	1940年	生息地の秋田県田沢湖に、発電所から強い酸性水が流出したのが原因。
トキ	コウノトリ目トキ科	体長約75cm 体重1.8kg	ドジョウ カエル	野性絶滅	野生種は1981年	人間による乱獲と自然環境の変化。
ニホンアシカ	食肉目アシカ科	オス:2~2.5m メス:1.5~1.8m	イカ・タコ	絶滅危惧IA類	1940年に目撃	江戸時代に皮や脂を目的とした猟がはじまり、年々減少。

絶滅 過去に生息していたことが確認できますが、現在では種が途絶えて、地球上からその生物が全くいなくなってしまうこと。

野性絶滅 飼育されていたり、元の生息地とは違う場所で野生化した種のこと。

絶滅危惧IA類 絶滅の危機がある種類。今のままでは近い将来会えなくなります。



今まで人間と共に生きてきた動物たちが、人間の手や環境の変化で絶滅してきました。これからも絶滅しそうなる動物はたくさんいます。みんなで何ができるか考え、動物たちを守りましょう!!

主催 郡山市・郡山市教育委員会
大安場史跡公園(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)

TEL.024-965-1088 〒963-1161 福島県郡山市田村町大善寺
FAX.024-965-1090 字大安場160番地

http://www.bunka-manabi.or.jp/oyasuba/



入場無料

大安場史跡公園 開園5周年記念事業

ダンボールアート DIY身体み



**ダンボール迷路
オオカミのひみつ**
迷路の中にあるクイズに答えて、プレゼントを手に入れよう!!

体験学習室 2 体験学習室 1

昔むかしの動物園
昔、郡山などに生息していた動物たちをダンボールアートで再現!



展示室
旧石器時代から古墳時代までの貴重な発掘調査資料を展示・公開中!

エントランスホール

入口

昔むかしの水族館
川や湖に住んでいた生き物を再現!大画面で水中をのぞいてみよう!

7月20日(土)
8月25日(日)

時間
AM9:00▶PM5:00
(入館は午後4時30分まで)

昔むかしそして少し前まで
身近にいた動物たちの記憶

ナウマンゾウ

- 分類** 長鼻目 ゾウ科
- 産地** 日本各地 **絶滅時期** 約1万6000年前
- 体長・特徴** 肩高2.5~3m
キバの太さ15cm・長さ2.4m
- 主食** 草 **絶滅理由** 環境変化や人間による乱獲。



▲ナウマンゾウの歯
熱海町営グラウンド(現在は警備熱海スポーツパークサッカー場)造成中に、6~4万年前の地層から発見された。(福島県立博物館蔵)



◀野尻湖のナウマンゾウ(模型)
(長野県立歴史館蔵)



野生化したミンクやフェレットのようですが、足跡の大きさが5cmで5本指だと、カワウソの可能性も…。

- 分類** ネコ目(食肉目) イタチ科
- 産地** 日本各地
- 絶滅時期** 昭和時代
1979年高知県での目撃例以降、国内での生存は未確認。
2012年に絶滅種に指定。
- 体長・特徴** 体長60~80cm前後
体重5~11kg
頭は平たく、耳が小さい。防水性の高い体毛は茶色。手・足に水かきがあり、尻尾は太くて長い。
- 主食** 川魚
- 絶滅理由** 河川のごみと農薬汚染。護岸工事や密猟。



▲ニホンカワウソ(イメージ図)
福島県での目撃情報は1950年代まで。いわき市泉町の大畑貝塚(縄文時代中~後期)からは、ニホンカワウソやニホンアシカ(絶滅? 1970年代に目撃記録あり)の骨が発見されています。

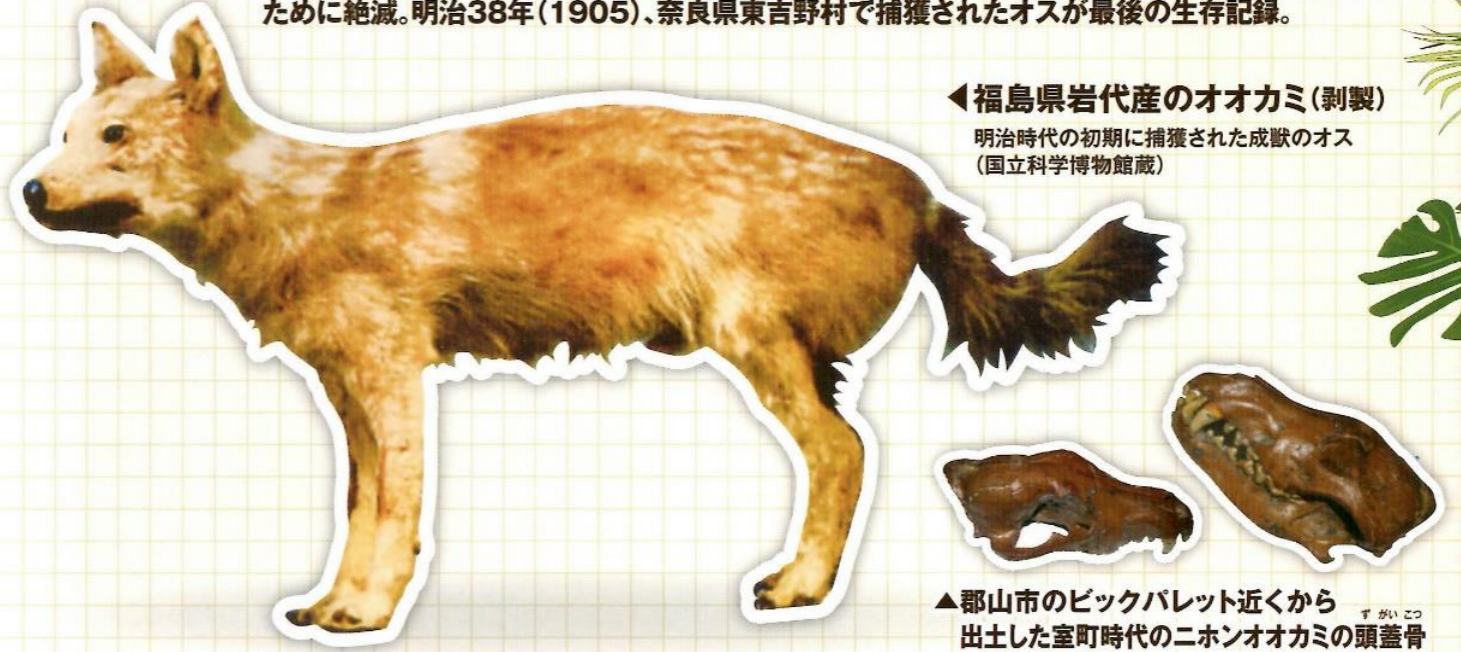


▲ニホンカワウソの足跡(イメージ図)

ニホンオオカミ

- 分類** ネコ目(食肉目) イヌ科
- 産地** 本州・四国・九州
- 絶滅時期** 明治時代
- 体長・特徴** 体長95~114cm(中型犬ほど)
- 主食** シカ

絶滅理由 田畑の守り神として尊ばれ、それがオオカミ(大神)の由来とも言われていますが、江戸時代以降の狂犬病の流行等による駆除や犬からのジステンパーの流行、餌となるシカの減少などのために絶滅。明治38年(1905)、奈良県東吉野村で捕獲されたオスが最後の生存記録。



◀福島県岩代産のオオカミ(剥製)
明治時代の初期に捕獲された成獣のオス
(国立科学博物館蔵)

▲郡山市のピックバレット近くから出土した室町時代のニホンオオカミの頭蓋骨

- 「オオカミ」の名がつく地名**
- 「狼石」… 郡山市逢瀬町多田野
- 「狼山」… 郡山市湖南町赤津
- 「大神」… 猪苗代町

- 「オオカミ」を祀る神社**
- 山津見神社(田村市船引町声沢) ▶ オオカミの護符(お札)や絵馬
- 虎捕山山津見神社(飯館村須佐) ▶ 狛オオカミや護符
- 大山祇神社(福島市方木田) ▶ オオカミの護符

オオカミが登場する古文書

享保二末(一七二七)年
「大槻組條目」(安齊家文書)
田畑を荒らすイノシシや家畜を襲うオオカミを追い払うため、鉄砲が貸し出されたことがわかる古文書です。

一 鉄砲之儀御定之獵師辞書并猪・狼おとしの為、日限を定御預ケ被成候者ハ格別、其外一切御停止ニ候、惣而御家中何方より当分被頼候共堅預り申間鋪事

沓掛池の狼 — 人間とオオカミとの温かな交流の様子を伝える昔話です

いまの須賀川市の森宿には、昔、馬の好きな馬之助と呼ぶ男がいて、百姓が暇なときは馬喰もしていた。ある月夜の晩、保土原に用事があつたの帰りに、沓掛池にさしかかった。すると池の端に一匹の狼がいて逃げようともせず、むしろすり寄ってくる。馬之助は「シッ、シッ」と追うが、口をあぐり開けてまたすり寄る。どうも様子が変だと口の中を覗いて見たが何も見えない。そこで恐る恐る口の中に手を突っ込んでみると、太い骨が横に引っ掛かっていることが判った。早速取つてやると、狼は馬之助に体を擦りつけるようにしてから山へ帰つていった。

…後略…
[須賀川史より一部抜粋]